

石狩の鳥・花を観察!

Observe birds & flowers in Ishikari

石狩は緑の豊富な公園や、川や海などの水辺も豊富なので、鳥や植物などがたくさん生息しています。季節によって出会えるものが移り変わるので何度来ても楽しめます。

オジロワシ

北海道で絶滅危惧種に指定されている国の天然記念物。青空に真っ白い尾羽を広げ悠々と旋回する姿はとても美しいです。

出会い度:  

通年

鳥の写真提供: Toru hakuhta

はまなすの丘公園

石狩川の河口に広がる、自然海岸草原です。ハマナスを始め、美しく珍しい季節の花々を見ることができます。また草原性の渡り鳥が繁殖子育てをする場所になっているので、本州ではなかなか出会えないような鳥達を近くで見ることができます。
※管理棟ビジターセンターに詳しい説明がありますので、ぜひ読んでみてください。

【はまなすの丘公園】
管理棟ビジターセンター
☎0133-62-3450(4/29~11/3)
(一社)石狩観光協会
☎0133-62-4611(通年)

本町地区
MAP B-5



イソスミレ

5月頃に咲く、紫色のスミレです。砂地に根をはる日本固有種で絶滅危惧種。またはまなすの丘公園が生育の北限となります。



ヒバリ

空高く飛びながら大きな声でさえずるともおしゃべりな鳥。雄の頭頂部の羽がモヒカンのようでありたいです。

出会い度:    



ハマ ハタザオ

海岸の砂地に咲く花で、旗竿のように茎を真っ直ぐ伸ばします。白い小さな花がひしめき合って咲きます。



ノビタキ

草原の小鳥の代表格。雄は頭も翼の上部も真っ黒、胸元が白地に赤というカラーリングで目につきやすいので、比較的にみつけやすいです。

出会い度:    



ハマ エンドウ

海岸の砂地に咲く青紫色の花です。スイートピーに似たお花はかわいらしいので観賞用に栽培もされます。



オオジュリン

真っ黒な頭部と喉元、夏毛の雄はいついですが、冬毛になると落ち着いたページになり、同じ鳥とは思えないほどの変身します。

出会い度:   



ココシキリ

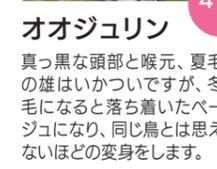
スズメより小さな身体ですが、大きく口を開けて、一日中、夜もさえずり続ける歌い手さんです。

出会い度:   



ハマナス

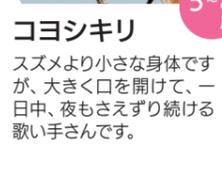
石狩市の、そして北海道の花です。バラ科の植物なので花のかわいらしさもさることながら、良い香りがあたり一面に漂います。実のローズヒップは食用にも。



オオジュリン

真っ黒な頭部と喉元、夏毛の雄はいついですが、冬毛になると落ち着いたページになり、同じ鳥とは思えないほどの変身します。

出会い度:   



ココシキリ

スズメより小さな身体ですが、大きく口を開けて、一日中、夜もさえずり続ける歌い手さんです。

出会い度:   



ハマ ヒルガオ

6月下旬~7月に淡いピンクの花を咲かせます。「はま」の名の通り、海岸の砂浜に自生します。



ホオアカ

ゴマ塩灰色の頭部に、名前の通りのレンガ色のほっぺがよく目立ちます。愛嬌がありますよね。

出会い度:   



ノゴマ

雄はカーニバルに参加しているような真っ黒のマスクをつけて、真っ赤な喉元は蝶ネクタイ、おしゃれさんです。

出会い度:   



シジュウカラ

黒い頭に黒くて長いネクタイ、しかしほっぺが真っ白という、かっこいいというにはちょっとおしい!

出会い度:  



エゾ スカシユリ

6月頃に咲くオレンジ色の花。コリ科の花では珍しく、空を仰ぐように上向きに花を咲かせるのが特徴です。



コウライキジ

草原を歩き回る鳥。その美しい色合いはとも目立ちます。真っ白なネクレスがキジとの違い。道路をひよりと横切ることあるので、運転には注意!

出会い度:  



ホウロクシギ

日本で見られるシギの仲間では最大。日本海側の砂浜でよくみられるのは、好物の甲殻類を食べるため。グルメな鳥です。

出会い度:  



ホシガラス

標高の高い所では見ることができませんが、平地で見かけるのはとてもレア。運がよければはまなすの丘公園にも。

出会い度: 



エゾカワラ ナデシコ

中部以北から北海道にかけて見られます。花弁は扇のような形状で、先端部が細裂しているのが特徴です。また繁殖期には風にあたりとゆれる可憐な淡いピンクの花です。

いしかり調整池 Area

まだまだあります観察スポット!

石狩浜 Area

9月から10月くらいまで一般開放され、近くで水鳥をみることができます。上空から狙いを定め滑空する猛禽類、逃げようと一斉に羽ばたく水鳥といった大自然のショーは迫力満点。



北生振地区
MAP D-7

はまなすの丘公園のすぐ隣ですが、海岸なので海鳥が多くみられます。海と草原の鳥が一度に見れてお得な気分です。



本町地区
MAP A-6



ダイサギ

アオサギと並ぶ日本では最大級のサギ。その違いは、ダイサギは真っ白い身体をしていること。また繁殖期には黄色だった嘴が黒くなります。

出会い度:   

9-10月



アオサギ

日本で繁殖する一番大きなサギ。青灰色の翼を広げると人間が両手を広げたよりも大きくなります。

出会い度:   

9-10月

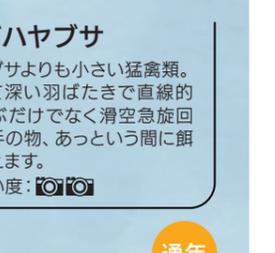


オオタカ

鷹狩り用の鷹として重用されており昔から人間のパートナーでした。しかし剥製(はくせい)にするなどの乱獲で、一時は希少種となっていました。

出会い度:   

9-10月



チゴハヤブサ

ハヤブサよりも小さい猛禽類。早くて深い羽ばたきで直線的に飛びだけでなく滑空急旋回もお手の物。あっという間に餌を捕えます。

出会い度:  

通年



トウネン

スズメくらいの小さなシギ。くちばしも足も短め。渡りの時には数千羽の大群となることも。

出会い度:  

5月・8-9月



ノスリ

風上に向かって羽ばたくことによって、ホバリングする頭脳派の鳥。害獣を餌にしてくれるので、農地の守り神とも呼ばれています。

出会い度:  

通年

花 Spot



ミズバショウ

4月頃、白く可憐なミズバショウの群生が広がります。白い部分は花ではなく苞(ほう)と呼ばれる葉が変形したもので、中心の小さな穂のようなものが花です。

生育地: マクンベツ湿原

本町地区
MAP D-7



桜

なんといっても圧巻なのは戸田記念墓地公園です。道内屈指の桜の名所で、園内には約8千本のソメイヨシノを中心に様々な桜が植栽されています。

生育地: 戸田記念墓地公園
9時~17時(入園は16時30分まで)
火曜(お盆・お彼岸・祝日を除く)・年末年始
☎0133-77-2321

厚田
MAP E-6



藤

園内の休憩スペースにある藤棚は、6月の最盛期に行く、薄紫の花と甘い香りに包まれます。流れ落ちる滝のような藤は幻想的でもあります。

生育地: 青葉公園

新港地区
MAP B-7



カタクリ

4月下旬から5月上旬までのわずかに週間ほどで散ってしまうので、スプリングエフェメラル(春の妖精)とも呼ばれる可憐な花です。片栗粉の原料でした。

生育地: あいロードパーク

厚田



カキツバタ

自然が沢山のキャンプ場内にはカキツバタだけでなく、ハナショウブやアヤメも植栽されていて、6~7月まで楽しめます。

生育地: 厚田キャンプ場
管理センター ☎0133-78-2100
(休)あい風 ☎0133-78-2300

厚田
MAP C-5



そば

8月頃にドライブをしていると、道路脇一面が真っ白に見えます。花径6ミリほどの小さな白い花(正しくはガク)がスプレー状に沢山咲いており、これがそばの花です。夏の日に来るまで雪が積もったかのような清涼感のある眺めが楽しめます。

生育地: 市内全域